



桜丘小たより

= 笑顔に会える学校 =

令和元年7月1日

第 4 号

枚方市立桜丘小学校

校長 中村 尚

<https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000007788.html>

TEL 050-7102-9028

へいわ し ほんとう しあわせ 平和の詩 「本当の幸せ」

糸満市立兼城小 6 年の山内玲奈さん

あおく うみ
青くきれいな海
うみ けしき
この海は どんな景色を見たのだろうか
ばくだん なんぼつ うち こまれ
爆弾が何 発も打ちこまれ
ほのお つつまれたまち
炎 で包まれた町
おきなわ み た
そんな沖縄を見たのではないだろうか

みどり だいち
緑 あふれる大地
だいち こえ きいた
この大地はどんな声を聞いたのだろうか
ばくおん
けたたましい爆音
なきさけ ぶおさなご
泣き叫ぶ幼子
へいし こえ じゅうせい いりみだれたせんじょう
兵士の声や銃 声が入り乱れた戦 場
おきなわ きいた
そんな沖縄を聞いたのだろうか

あおくすみわたるそら
青く澄み渡る空
そら
この空は
おもった
どんなことを思ったのだろうか
みどり きえ
緑 が消え
まち きえ
町が消え
きぼう ひかり うしなつたしま
希望の 光 を失った島

からだ ふるえ
体 が震え
こころ ふるえた
心 も震えた
とうといいのち うばわれた しり
いくつもの尊い 命 が奪われたことを知り
おきなわ なみだした
そんな沖縄に涙したのだろうか
へいせいじだい
平成時代
わたし よ うまれた
私 はこの世に生まれた
あおく うみ
青くきれいな海
みどり だいち
緑 あふれる大地
あおくすみ そら しらないわたし
青く澄みわたる空しか知らない 私



うみ だいち そら ねんまえ
海や大地や空が 74 年前
なに み て
何を見て
なに き き
何を聞き
なに おもった
何を思ったのか
しらない せだい ふえて
知らない世代が増えている



たいけん
体験したことはなくとも
せんそう ひさんさ
戦争の悲惨さを
けっしてくりかえして
決して繰り返してはいけないことを
つたえついで
伝え継いでいくことは
いまに いきる わたしたち しめい
今に生きる私たちの使命だ

に ど かなしい なみだ ながさない
二度と悲しい 涙 を流さないために
しま
この島が
くに
この国が
せかい しあわせ
この世界が幸せであるように

ことし おきなわ いれい ひ しきてん やまうち れいな よん だ じさく し しょうがっこう
これは今年の沖縄慰霊の日の式典で山内玲奈さんが読んだ自作の詩です。小学校
6ねんせい し しって わたし おどろきました せんじつ ぜんこうちょうかい わたし すこし
6年生の詩と知って 私 はとても驚きました。先日の全校朝会で 私 がほんの少しだ
おきなわ せん おはなし し よん で おきなわ おもい かんじて
け沖縄戦についてお話しをしました。この詩を読んで沖縄の思いを感じてくださいね。

さいがい そ な え ま し ょ う
災害に備えましょう

とうこうちゅう じしん
★登校中に地震がおきたら

がっこう ちかい ばあい がっこう い き ま す いえ ちかい ばあい いえ
学校に近い場合は学校に行きます。家に近い場合は家に
い き ま す いえ だれ ばあい がっこう き て
行きます。ただし、家に誰もいない場合は学校に来てください。

おか ねもち ゆうめい
お金持ちになることや 有名になることが
しあわせ
幸せではない
かぞく ともだち わらい あえる まいにち
家族と友達と笑い合える毎日こそが
ほんとう しあわせ
本当の幸せだ
みらい ゆめ も つ さいこう しあわせ
未来に夢を持つことこそが 最高の幸せ
だ

ぬち たから
「命どう宝」
いき て わらい あえる
生きているから笑い合える
いき て みらい
生きているから未来がある
れい わ じ だ い
令和時代
あした きぼう ねがう あたらしい じ だ い
明日への希望を願う新しい時代が
はじまった
しあわせ
この幸せをいつまでも



おさない



たても の へい でんしんばしら はなれて まちます たおれて
建物、塀、電信柱からは離れてしゃがんでゆれがおさまるまで待ちます(倒れてくる
場合があります)。高い建物(マンションとか)からも離れます(ガラスが落ちてくる場合が
あります)。切れた電線は感電するかもしれないので近づきません。

★授業中に地震がおきたら

きょうしつ つくえ した あたま つくえ あし りょうて もちます
教室では机の下に頭をいれて、机の脚を両手で持ちます。
きょうしつ でいりぐち ひらけて せんせい いう きいて
教室の出入り口は開けておきます。先生の言うことを聞いてください。
ぷーる とき じしん ぷーるさいど もって
プールの時に地震がおきたら、プールサイドを持ってゆれがおさまる
のを待ちます。おさまったらプールサイドに上がります。先生の言うことを聞いてください。
たいいくかん じしん たいいくかん ちゅうおう あつまって
体育館にいるときに地震がおきたら、体育館の中央に集まってしゃがんでください。
かべがわ がらす おちて ちゅうい せんせい いう きいて
壁側はガラスが落ちてくるかもしれないので注意してください。先生の言うことを聞いて
ください。

かけない



うんどうじょう じしん うんどうじょう ちゅうおう あつまって
運動場にいるときに地震がおきたら、運動場の中央に集まってくだ
さい。先生の言うことを聞いてください。
かていかしつ じしん つくえ
家庭科室にいるときに地震がおきたら、机のそばでしゃがんでくだ
さい。先生の言うことを聞いてください。

しゃべらない



おんがくしつ じしん きょうしつ ちゅうおう あつまって まど
音楽室にいるときに地震がおきたら、教室の中央に集まってしゃがんでください。窓
びあの ちかづかないで せんせい いう きいて
とピアノには近づかないでください。先生の言うことを聞いてください。
りかしつ こんぴゅーたー いきょうしつ つくえ した あたま せんせい いう
理科室、コンピューター教室では机の下に頭をいれてください。先生の言うことを
ききます
聞きます。

ちかよらない

★休み時間などに地震がおきたら

ろうか ちかく きょうしつ はいって つくえ した あたま いれて
廊下にいるときは近くの教室に入って、机の下に頭を入れてくだ
さい。階段にいるときはあわてて階段を降りるのではなく、しゃがんで
ゆれがおさまるのを待ちます。

うんどうじょう うんどうじょう ちゅうおう あつまって たいいくかん ちゅうおう
運動場にいるときは運動場の中央に集まってください。体育館にいるときも中央に
あつまって ほうそう せんせい し じ
集まってください。放送や先生の指示にしたがってください。

もどらない

★下校中に地震がおきたら

がっこう ちかい ばあい がっこう いきます いえ ちかい ばあい いえ いきます
学校に近い場合は学校に行きます。家に近い場合は家に行きます。
いえ だれ ばあい がっこう きて
ただし、家に誰もいない場合は学校に来てください。



たても の へい でんしんばしら はなれて まちます たおれて
建物、塀、電信柱からは離れてしゃがんでゆれがおさまるまで待ちます(倒れてくる
ばあい たかいたても の まんしょん はなれます がらす おちて ばあい
場合があります)。高い建物(マンションとか)からも離れます(ガラスが落ちてくる場合が
あります)。切れた電線は感電するかもしれないので近づきません。